津山市社会福祉協議会創立７０周年記念誌

１０年のあゆみ

編集発行　津山市山北５２０　津山市総合福祉会館内
社会福祉法人　津山市社会福祉協議会
電話　２３－５１３０
FAX　２４－２９７９
URL http://www.tsuyamasyakyo.or.jp/

発行年月日　令和３年３月１日

津山市社会福祉協議会　創立70周年記念誌　10年のあゆみ

津山市社会福祉協議会

70th anniversary

～ 10年のあゆみ ～

目　次

ご　挨　拶 ………………………………………………… 2

ご　祝　辞 ………………………………………………… 4

理念・ビジョン ……………………………………………… 8

津山市社会福祉協議会　沿革（昭和２年〜） ………………… 10

過去の１０年のあゆみ（平成２３年度〜令和２年度）

歴　史　編 ………………………………………………… 13
平成２２年度 ……………………………………………… 14
平成２３年度 ……………………………………………… 15
平成２４年度 ……………………………………………… 16
平成２５年度 ……………………………………………… 17
平成２６年度 ……………………………………………… 18
平成２７年度 ……………………………………………… 21
平成２８年度 ……………………………………………… 22
平成２９年度 ……………………………………………… 24
平成３０年度 ……………………………………………… 27
平成３１年度（令和元年度） ……………………………… 29
令和　２　年度 ……………………………………………… 32

事　業　編 ………………………………………………… 37
赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業 …………………… 38
市民後見人養成事業 ……………………………………… 38
小地域ケア会議 …………………………………………… 39
地域子育て支援事業 ……………………………………… 39
生活支援サポーター事業 ………………………………… 40
認知症総合支援事業 ……………………………………… 40
認知症あったか声かけ模擬訓練 ………………………… 41
アルツハイマーデー事業 ………………………………… 41
津山市権利擁護センター「らいと☆おん」 ……………… 42
法人後見事業 ……………………………………………… 42
生活支援コーディネーター事業 ………………………… 43
加茂福祉センター生きがいと交流事業「トレトレ・すまいる倶楽部（脳トレ）」 … 43

資　料　編 ………………………………………………… 45
決算状況 …………………………………………………… 46
津山市の人口、世帯数など ……………………………… 47
福祉サービス利用統計 …………………………………… 48
歴代就任役員名 …………………………………………… 50
令和２年度の役員（理事・監事）・評議員名簿・職員名簿 …… 52

記念誌発刊のお礼 ………………………………………… 55

挨　　拶

社会福祉法人
津山市社会福祉協議会
会長　小　山　　了

津山市社会福祉協議会は、民間の社会福祉団体として、昭和２５年１１月に発足以来、今年で７０周年を迎えました。これもひとえに、永年にわたり津山市社会福祉協議会を様々な面から支えていただいた、多くの関係者・団体の皆様のご理解・ご協力の賜物と心からお礼申し上げます。

津山市社会福祉協議会（当時、津山市社会福祉協会）は、戦後間もない時期に幾多の苦難を乗り越え、関係各位のご尽力により設立されました。

最近１０年を振り返りますと、少子高齢化の進行による人口構成や家族形態、地域基盤に大きな変化が生じており、一方ではセーフティネットに生じたほころびや、日本各所に被害をもたらした災害、また、新型コロナウイルスの感染に端を発する社会的・経済的な打撃など、多発する災害への備えや、新たな福祉・生活課題への的確な対応が求められています。

こうした状況の中で、あらためて地域福祉の重要性が再認識されており、行政はもとより地域で暮らす子ども・高齢者・障がいのある方など全ての人々が、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を越えて、他人事ではなく「我が事」として、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや担い手として役割をもち、高め合い、支え合い、助け合うなど地域住民相互の絆を再構築し、福祉コミュニティや地域社会を共に創ることで、住民が自立した生活を営むことのできる体制づくり・仕組みづくりなど「地域共生社会の実現」に向けた取り組みが求められています。

このような背景の中で、津山市社会福祉協議会では、「地域福祉活動計画」を策定し、地域住民が主体的に自らの地域のために出来ることを考え実践することを支援するための「赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業」、地域の身近な立場で後見活動による支援を行う市民後見人の養成のための「市民後見人養成事業」、地域住民と専門職・行政等がともに地域課題等について話し合い、解決に向けて協議し取り組みを進める「小地域ケア会議」の設置推進と運営支援、認知症の人や家族の支援として「認知症初期集中支援チームの設置」や支援に向けた連携を図るための「認知症地域支援推進員の配置」、地域への理解・啓発や見守りや支え合いの地域づくりに向けた「認知症あったか声かけ模擬訓練」「アルツハイマーデー事業」さらには、認知症の高齢者や障がいのある方などの権利擁護に向けた、成年後見制度等の周知・啓発や利用支援に向けた「津山市権利擁護センター」の立ち上げ、身上監護や財産管理等の権利擁護支援として「法人後見事業」、高齢者の介護予防に関する取り組みの充実・創出に向けて、多様なネットワークを調整していく「生活支援コーディネーター事業」、さらには社会福祉法人の地域での公益的な取組みとの連携による、子育て支援や生活困窮者支援、インターネットによる動画配信でのボランティアスクールなどの事業を新たに開始し、地域の実情やニーズに沿って、幅広い協働・連携により、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に向けて、事業を、計画的・重点的に展開してまいりました。

今後も、津山市社会福祉協議会の役職員一同、この７０周年の節目の年を契機として、このように輝かしい歴史を築きあげてこられた、歴代の会長、役職員等の皆様の多大なご尽力に対して心から敬意を表するとともに、その功績をしのびつつ諸先輩方や関係各位の熱意と津山市社会福祉協議会活動の伝統を受け継ぎ、心新たに津山の特性を活かした地域福祉の推進に努めてまいります。

今日までに賜りました皆様からのご厚意に改めて感謝申し上げますとともに、地域福祉の推進にあたり、これまで以上に地域住民をはじめ、関係機関・団体、行政等の皆様方と協働・連携を図り、地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

今後も津山市社会福祉協議会へ、一層のご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

祝　　辞

津山市長　谷　口　圭　三

　このたび、津山市社会福祉協議会が創立７０周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

　貴協議会におかれましては、昭和２５年１１月の創立以来、地域福祉の向上にご尽力賜り、関係者の多年にわたるご苦労に対しまして、深く敬意を表し感謝の意を表します。

　近年、人口減少・少子高齢化が進み、社会情勢やライフスタイルの変化等により、人と人とのふれ合う機会が減少し、地域住民同士のつながりや支え合いの精神が希薄になってきているといわれております。

　その一方で、育児、介護、障害、貧困等の諸問題を抱える世帯の増加など地域が抱える課題や問題は多様化かつ複雑化しており、そのことを「我が事・丸ごと」として捉え解決する、地域共生社会の実現が急務となってきております。

　昨今の情勢では、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症による経済の後退や生活不安のストレスに起因する様々な心身への影響が問題となっており、社会福祉を推進していく上で新たな支援のあり方が問われています。

　こうしたなか、津山市におきましては、平成３１年に策定しました「第２次津山市地域福祉計画」において「誰もが健やかで安心できる支え合いのまちづくり～地域共生社会の実現に向けて」を基本理念として、その実現に向けて全力で取り組んでいるところです。

　住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる社会の実現に向けて貴協議会の地域に密着した活動は、今後、ますます重要性を増すものであり、地域福祉活動の中核として、引き続き、本市の地域福祉の推進にご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

　結びに、津山市社会福祉協議会の益々のご発展と、関係各位のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　　辞

津山市議会
議 長　岡　安　謙　典

　この度、津山市社会福祉協議会が創立７０周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

　貴協議会におかれましては、昭和２５年１１月に創設されて以来、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、住民に身近な福祉サービスの提供や地域福祉活動への参加促進を積極的に行い、地域福祉の向上に大きく貢献してこられました。

　７０年という長い期間、地域に根ざした活動を着実に推進してこられたことは、これまでの歴代会長をはじめ、地域福祉を支える会員の皆さま、更には、関係機関の皆さまのご尽力の賜と心から敬意を表するものであります。

　近年、社会構造の変化により、働き方や家庭の機能が変容し、人びとの生き方や暮らし方が多様化したことにより、行政サービスだけでは解決できない課題も多く、また、介護や権利擁護など新たな社会福祉サービスに関するニーズも増大しております。

　貴協議会は、その公共性を活かし、地域に根付いた社会福祉活動やその体制づくり、共同募金等の管理運営など、最も生活に密着した多くの事項に日々取り組んでいただいているところであり、皆さまのご労苦に対し、心から重ねて感謝の意を表しますとともに、行政とのパートナーシップを推し進めながら、新たな課題にどのように応えていかれるのか、地域福祉の中心的な担い手として、その役割や今後の取り組みに大いに期待するものであります。

　この記念すべき７０周年を１つの節目とされまして、これからも地域の躍進・発展の原動力となるべく、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、津山市社会福祉協議会が今後ますますご発展されますようご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

創立７０周年記念を祝して

美作県民局長　小　寺　紀　孝

社会福祉法人津山市社会福祉協議会の創立７０周年を心からお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和２５年１１月の創立以来今日まで、社会福祉の充実発展に幅広い活動を積み重ねられ、津山市の社会福祉の発展に多大なる貢献をされました。

とりわけ、貴協議会が設立された７０年前は、終戦直後の失業･貧困対策が整い、ベビーブームもピークが過ぎつつあった頃でした。その後、我が国は、高度経済成長を経て、高負担高福祉へ舵を切り、福祉元年といわれた昭和４８年からの充実期、平成１２年の介護保険制度の導入、「措置から契約へ」利用者本位の制度への転換など、幾度もの社会保障制度改革が行われ、現在に至っております。

貴協議会におかれましても、設立以来、行政や、民生委員をはじめとした福祉関係者、ボランティア等とも連携しながら、その時代時代に応じて、市民のニーズを汲み取り、必要とされる活動を積み重ねてこられた７０年であり、この間、活動に携わられた数多くの皆様のご労苦に、改めて深く感謝申し上げます。

ご承知のとおり、近年は、少子化・高齢化の進展や人口減少、地域のつながりの希薄化など、社会の姿は大きく変化しており、高齢者の孤立化、DV、児童虐待、さらには災害時の迅速な避難など、地域の課題は、正に山積しています。

このような課題に対応するため、当県民局といたしましても、貴協議会とともに、それぞれが持つ強みが発揮されるよう有機的に連携を図りながら、力を合わせて、県民福祉の向上に努めてまいりたいと存じます。

結びに、この７０周年という節目を契機に、福祉の機運がますます盛り上がり、お互いに支えあい、「住んでいて良かった」と、笑顔あふれる津山地域が実現することを祈念いたしますとともに、貴協議会の一層のご発展をお祈り申し上げます。

祝　辞

社会福祉法人
岡山県社会福祉協議会
会長　足　羽　憲　治

津山市社会福祉協議会が創立７０周年を迎えられるにあたり、その記念誌が発行されますことは誠に意義深く、心からお慶び申し上げます。

創立７０周年の節目となった令和２年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会・経済活動の停滞、地域住民による地域福祉活動やボランティア活動の自粛など生活課題・福祉課題が深刻化する中、津山市社会福祉協議会では「つながる 助けあい マスクプロジェクト」による地域住民同士の絆を切らさない取組を展開するなど、目の前の課題に向き合い、地域福祉活動の継続・推進に取り組んでこられました。

こうした取組は、これまでの７０年の歩みの中で培ってきた、人と人とのつながりづくりや、支えあうことの意義、地域住民の力を高めてきた成果であり、そして、津山市民や関係機関・団体のご理解とご参画があったから実現できたものと存じます。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大による生活福祉資金の貸付件数の増加や、制度の狭間の課題である生活困窮者自立支援、ひきこもり支援、各地で頻発する災害に対しての備えなど多くの課題が山積しています。

津山市社会福祉協議会では、さまざまな課題にどう対応していくか、これからの５年、１０年後の津山市を見据え、令和３年度からの新たな指針となる第６次地域福祉活動計画をもとに、保健・福祉分野だけではなく、幅広い関係機関・団体との協働・連携による重層的な支援が展開され、住民主体、地域を基盤とした新たなサービスの開発や、支援を必要とする人も一緒に参画できる地域の居場所づくりなど、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」がより一層推進されますことを期待しております。

終わりに、津山市社会福祉協議会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、創立７０周年にあたってのお祝いの言葉といたします。

津山市社会福祉協議会の理念 及び ビジョン
（理念実現のための行動指針）

1 個人の尊厳を旨とし、すべての人々の幸せを求めていきます

vision

- ●常に笑顔で思いやりの心をもって行動します
- ●出会いを大切に、一人ひとりを見つめた支援を行います
- ●謙虚に耳を傾け、粘り強く、親切丁寧に対応します
- ●個人を尊重し、自己決定と自己実現の視点を基本に支援します

2 しあわせな社会づくりを目指し、地域住民はもちろんあらゆる分野の機関・団体・事業所・個人と協働していきます

vision

- ●住民や関係機関・団体・社協の持ち味が発揮できるよう連携をすすめていきます
- ●支え合い、助け合いの心を大切に、住民および関係者と共に課題解決にあたります
- ●関係機関・団体、住民とのネットワークづくりを円滑にすすめるため多様な情報の発信と共有に努めます

3 住民と共に、住民主体の心豊かな、ぬくもりのある地域福祉を共創していきます

vision

- ●地域のリーダー役の方々との連携を密にし、住民生活に即した地域福祉を展開します
- ●積極的に地域に出かけ住民の力を見いだし、住民と共に居心地の良い地域づくりに努めます
- ●出会いと交流があふれ、誰もがやさしく気遣いあえる地域づくりに努めます

3つの理念に共通するビジョン

- ●理念の実行と法令遵守を徹底し、持続可能な経営に努めます
- ●公平公正な事業実施、運営に努めます
- ●常に学び、行動し、評価し、事業をすすめます
- ●和を大切に職員全員が一致団結し職務にあたります

第５次地域福祉活動計画の基本事項

社協と地域で やるきをもちより きずこう よろこびあふれる うつくしいまち津山

し ● **社協と地域で**
地域づくりの主体である地域住民・団体はもちろん、ボランティア・NPO、関係機関･団体、行政等を地域福祉推進の力として捉え、津山市社協と協働すること。

や ● **やるきをもちより**
地域と津山市社協が自分たちにできることを考え、お互いに力を合せて、より大きな力を発揮していくこと。

き ● **きずこう**
目指すべき地域の姿である「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進していくこと。

よ ● **よろこびあふれる**
地域がつながり、支え合い・助け合い、誰もが自分なりの幸せを感じて生活していくことで、まち全体が笑顔で一杯になっていくこと。

う ● **うつくしいまち津山**
津山の“まち（地域）”や“人”が、笑顔で一杯になり、輝きに満ちた美しいまちになること。

社会福祉法人 津山社会福祉協議会　沿革

年	月	事業内容
昭和 2年	1月	津山町済世会設立
3年	10月	津山町済世会託児所開設
4年	4月	津山市済世会と改称
11年	4月	津山保育園（津山市済世会託児所を改称）
21年	10月	津山市済世援護会を設立
25年	11月	津山市社会福祉協会を設立
34年	9月	財団法人津山市社会福祉協会認可
36年	3月	津山ひかり学園開園
37年	8月	社会福祉法人津山市社会福祉協議会認可
38年	12月	津山善意銀行の発足
41年	4月	城西保育園の受託運営
44年	7月	家庭奉仕員（ホームヘルパー）の運営受託
47年	4月	津山老人福祉センターの建設運営
48年	4月	津山乳児保育園の建設運営
48年	11月	津山高齢者無料職業紹介所を開設
50年	10月	津山市社会奉仕活動センター発足（津山善意銀行を改組）
57年	8月	津山市総合福祉会館の建設運営
59年	2月	福祉施設への移送型入浴サービス事業を開始
60年	4月	厚生省より「ボラントピア事業」（ボランティアによる福祉の町づくり事業）の指定を受ける
61年	6月	津山市ボランティア活動センターの発足（社会奉仕活動センター改組）
63年	3月	運営していた福祉施設の分離・別法人へ運営を移譲 津山ひかり学園、津山保育園、城西保育園、津山乳児保育園の４施設を（福）津山社会福祉事業会へ移譲する
平成 3年	8月	津山福祉人材バンクを開設
3年	10月	厚生省より「ふれあいのまちづくり事業」の指定を受ける
3年	11月	食事サービス事業の受託運営
6年	4月	登録ホームヘルパー派遣業務を開始
6年	4月	在宅訪問型入浴サービス事業を開始
8年	3月	第１次地域福祉活動計画（福祉のまちづくりプラン）を策定
10年	1月	在宅介護支援センターを受託設置
10年	10月	台風 10 号による大水害に対する災害救援活動を実施（岡山県並びに市町村社協の救援を受ける）
11年	10月	地域福祉権利擁護事業を受託運営
12年	4月	介護保険法による指定居宅サービス事業所・訪問介護支援の指定を受ける
17年	2月	旧加茂町社会福祉協議会、旧阿波村社会福祉協議会、旧勝北町社会福祉協議会、旧久米町社会福祉協議会が解散し、社会福祉法人津山市社会福祉協議会に編入合併する
18年	4月	加茂町福祉センター、高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」指定管理者受託
18年	4月	津山市地域包括支援センター受託運営
21年	4月	加茂町福祉センター指定管理者受託
21年	4月	「親子ひろばすくすく」津山すこやか・こどもセンターへ移転（週５日開放）
21年	8月	厚生労働省より「津山流住民主体の小地域ケアシステムの構築事業」の指定を受ける

年	月	事業内容
平成 22年	通年	社協創立６０周年記念事業実施
22年	通年	小字単位のニーズキャッチマニュアル作成
22年	通年	地区説明会の開催
23年	3月	第４次地域福祉活動計画（福祉のまちづくりプラン）策定（H 23年度からの５カ年間）
23年	3月	子育て支援の財源確保に向け、「子ども基金」を創設
23年	9月	市民後見人養成講座を開設
24年	通年	小地域ケア会議設置に向け、地域組織化を始める 連町４４支部全てへの設置を目標とする（継続事業）
25年	通年	第４次地域福祉活動計画中間検討部会設置、中間報告
25年	4月	老人福祉センターアスベスト撤去工事実施
26年	4月	加茂町福祉センター指定管理受託
27年	1月	老人福祉センター入浴設備改修工事実施（ボイラー更新他）
27年	4月	久米福祉センターの介護保険事業（居宅支援、訪問介護、訪問入浴）を本所介護保険事業に統合
27年	7月	生活支援サポーター事業開始
28年	3月	第５次地域福祉活動計画策定（H 28 年度からの５カ年間）
28年	3月	津山市総合福祉会館エレベーター設備の改修
28年	6月	権利擁護センター設立準備委員会を設置
28年	6月	津山市総合福祉会館ＺＥＢ化改修事業着手
29年	4月	社会福祉法改正に伴い定款改正施行、関連規程の改正
29年	4月	権利擁護センター（らいと☆おん）開設
29年	7月	生活支援体制整備事業第１層コーディネーター設置
30年	1月	津山市総合福祉会館ＺＥＢ化改修事業完了（屋上断熱屋根設置、窓ガラス複層化、空調及び照明設備更新）
30年	3月	定款変更　公益事業として法人後見事業を位置づけ
30年	4月	生活支援体制整備事業第１層・第２層コーディネーター及び第２層協議体設置事業受託
30年	4月	法人後見事業開始
30年	4月	津山市社会福祉協議会発展強化計画策定
30年	7〜10月	総社市・倉敷市真備町災害ボランティアセンター支援
31年	4月	加茂町福祉センター指定管理受託
令和 元年	5月	津山市社会福祉協議会職員研修計画策定
元年	5〜9月	認知症啓発事業（「注文をまちがえるかもしれないレストラン」開催、オレンジウオーク実施）
元年	8月	津山市社会福祉協議会災害対応マニュアル策定
元年	9〜10月	新見市災害ボランティアセンター支援
2年	1月	加茂・阿波圏域第２層協議体設立
2年	1月	勝北圏域第２層協議体設立
2年	通年	津山市社会福祉協議会創立７０周年記念事業実施
2年	6月	津山市と「津山市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」締結
2年	7月	津山青年会議所と「災害ネットワーク協定」締結
3年	3月	第６次地域福祉活動計画策定

津山市社会福祉協議 70th Anniversary

～ 10年のあゆみ ～

◆多くの皆様とともに様々な取り組み進めてきた10年のあゆみ

歴史編

平成２２年度	
平成22年10月～	第４次津山市社会福祉協議会地域福祉活動計画を策定 （津山市の実情に即した、ふれあい福祉のまちづくりを目指して、策定に向けた取り組みを進めました。）

	介護教室実施（H22. ６月～ 11 月）
	ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催 （H22.10 月 13、14 日に実施）
平成22年12月9日	高齢者虐待防止研修会
平成23年3月	東日本大震災発災 被災地支援のため、多賀城市災害ボランティアセンターへ 職員延べ２名を派遣（H23. ５月２日～５月７日） 岡山県社協が災害ボランティアバスを運行

平成23年3月10日	地域包括支援センターフェア開催
津山・全国の動き	国勢調査実施。人口１０６，７８８人

平成 23 年度	
平成23年4月	赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業開始
	第４次津山市社会福祉協議会地域福祉活動計画に基づき事業を実施 第４次計画の６つの柱 １ 福祉問題の把握・福祉情報の提供を日常的にすすめます。 ２ 住民・団体の自主的参加活動の促進を図ります。 ３ 福祉教育・福祉コミュニティづくりをすすめます。 ４ 支援を必要とする方々への在宅福祉活動をすすめます。 ５ 新たな地域福祉推進に向けた連携の強化を図ります。 ６ 社会福祉協議会の充実強化を図ります。
平成23年6月	津山市認知症の人と家族の会「おあしすの会」20 周年
	介護おたすけ講座（H23.6 月～８月に実施）
平成23年8月	市民後見人養成講座開催（津山市に初めて６名の市民後見人が誕生）
平成23年9月	こども基金創設（山田養蜂場の寄付と市民の寄付を以って創設）
平成23年11月	ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催 （H23.11 月 17 日、22 日、29 日、30 日に実施）
平成23年11月11日	社会福祉大会開催 テーマ　考えよう新しい公共性と市民活動 講　師　吉備国際大学社会福祉学部　塚田　健二　氏 「新しい公共性と市民活動」
平成23年11月13日	介護予防セミナー開催
平成23年12月	社協だより第 100 号を発行（第１号は昭和 60 年 12 月）

平成23年12月15日	高齢者虐待防止研修会実施
平成24年3月8日	地域包括支援センターフェア開催

津山・全国の動き	津山市障害者計画策定 津山市第４次総合計画　後期実施計画策定 第５期津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定 グリーンヒルズ津山グラスハウスリニューアルオープン 第８回津山国際総合音楽祭開催 「B-1 グランプリ in 姫路」で津山ホルモンうどん研究会がシルバーグランプリ 介護保険法改正（H24. ４月１日施行） 高齢者の居住の安定確保に関する法律制定(H24.10月20日施行)

平成 24 年度	
平成24年4月	介護保険法改正により地域包括ケアシステム推進が明記される。 わくわく・サマー体験教室　20 周年
平成24年6月7日	親子ひろば　すくすく　利用者３万組達成（セレモニー６月11 日）
平成24年7月	介護おたすけ講座講演会開催（H24. ７月、11 月、H25. １月）
平成24年9月30日	介護予防セミナー開催
平成24年10月25日	社会福祉大会開催 テーマ　住民主体の新たな地域福祉活動構築に向けて 講　師　福山平成大学　福祉健康学部　藤井　悟　氏 「新たな地域課題と今後の住民自治活動の方向」
平成24年12月13日	高齢者虐待防止研修会実施
平成25年2月7日	ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催 テーマ　魅力あるサロンづくりを目指して 講　師　吉備国際大学　社会学部 ビジネスコミュニケーション学科　黒宮 亜希子 氏 「魅力あるサロンづくりを目指して ‼」
平成25年3月	小地域ケア会議の設置推進に向けて城西支部をモデル事業として実施
平成25年3月11日	地域包括支援センターフェア開催
津山・全国の動き	東京スカイツリーへ「江戸一目図屏風」の複製を展示 津山市森づくり条例制定 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者自立支援法から改正)(H25. ４月１日施行)

平成 25 年度	
平成25年4月	鶴山福祉観光売店を２店舗に縮小（藤の店閉店）
平成25年4月15日	地域版親子ひろば　すくすく久米を開設（月１回） 地域住民主体の親子ひろばとして、福祉ボランティア久米、愛育委員、民生児童委員の協力を得て開設

平成25年４月22日	地域版親子ひろば　すくすく勝北を開設（月１回） 地域住民主体の親子ひろばとして、託児ボランティア勝北の協力を得て開設

平成25年4月1日	ホームページリニューアル
平成25年5月	介護おたすけ講座実施（H25. ５月～７月）
平成25年6月	市民後見人養成講座受託（岡山県受託事業） 社協だより 106 号からレイアウトを一新

平成25年7月	第 30 回 夏のボランティア体験事業実施
平成25年8月	子育て支援事業 親子クラブ 補助金受付開始
平成25年8月21日	介護おたすけ講演会開催

平成25年10月30日
社会福祉大会開催
　テーマ　住みなれた地域で安心して暮らしていくために
　講　師　駒澤大学　川上　富雄　氏
　　　　　「住みなれた地域で安心して暮らしていくために」
　　　　　　～地域包括ケアシステムの構築～

平成25年12月1日
介護予防セミナー開催

平成26年2月
ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催
　テーマ　私のサロン自慢‼
　　　　　（H26. 2月 20、24、25、26 日に実施）

平成26年2月20日
高齢者虐待防止研修会実施

平成26年2月27日
地域包括支援センターフェア開催

津山・全国の動き
第１次津山市地域福祉計画策定
美作国建国１３００年記念事業の実施
全国さくらサミット in 津山開催
近畿・中国・四国 B-1 グランプリ in 津山開催
城東地区が重要伝統的建造群保存地区に制定
生活困窮者自立支援法制定（H25. ４月１日施行）
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律制定
　（H28. ４月１日施行）
障害者の雇用の促進等に関する法律改正
　（H28. ４月１日、H30. ４月１日施行）

平成 26 年度

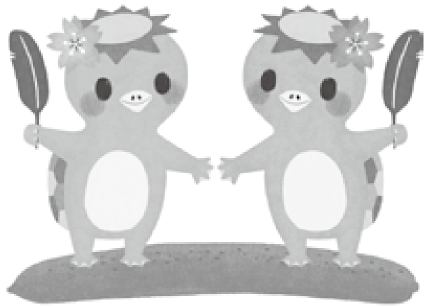
平成26年4月
地域版親子ひろば　すくすく久米　利用者の希望から開催回数を増やした。（月２回）
　利用者アンケートの結果、開催回数を月に１回増やすことになった。
家族介護者交流事業の廃止（久米）
　介護者の会とおあしすの会に統合
鶴山福祉観光売店を１店舗に縮小（梅の店閉店）
社会福祉法人新会計基準に移行
加茂町福祉センターを津山市より指定管理受託

平成26年5月14日
介護おたすけ講演会開催

平成26年8月
介護おたすけ講座開催

平成26年8月19日
地域版親子ひろば　すくすく佐良山を開設
　地域住民主体の親子ひろばとして、ボランティアの協力を得て開設

平成26年9月
津山市共同募金委員会オリジナルキャラクター（たすくちゃん、ゆうちゃん）作成



津山市総合福祉会館建設基金創設

平成26年10月22日
社会福祉大会開催
　テーマ　津山市地域福祉計画策定から始まる新しい福祉のまちづくりのカタチ
　講　師　美作大学 生活科学部社会福祉学科 小坂田 稔 氏
　　　　　「津山市地域福祉計画策定から始まる
　　　　　　　　　新しい福祉のまちづくりのカタチ」
　　　　　　～小地域ケア会議から
　　　　　　　　　包括ケアシステム構築への道のり～

平成26年10月28日
親子ひろば　すくすく
　利用者５万組達成（セレモニー 11 月６日に実施）

平成26年11月24日　介護予防セミナー開催

平成27年1月　津山老人福祉センターリニューアルオープン（浴場・南側トイレを改修）
　入浴施設の改修完了と愛称「さら楽」の公表を兼ねた開所式を開催

平成27年２月6日　地域包括支援センターフェア開催

平成27年２月18日　ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催
　テーマ　魅力あるサロンづくりを目指して !!
　講　師　美作大学　居原田　洋子　氏
　　　　　「レクリエーションで楽しいサロンづくり」

平成27年２月19日　高齢者虐待防止研修会実施

平成27年２月28日　認知症キャラバンメイト養成講座開催

平成27年3月3日　久米介護プラン作成センター、久米介護サービスセンター、久米訪問入浴サービスセンターを廃止し本所に統合

津山・全国の動き
- 第４期津山市障害福祉計画策定
- 第６期津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定
- 津山市子ども・子育て支援事業計画「つやまっ子にこにこプラン」策定
- 津山市消防団が日本消防協会特別表彰「まとい」受章
- 草加部学校教育食育センター稼働
- 新ときわ園完成
- 第９回津山国際総合音楽祭開催
- 忠臣蔵サミット in 津山開催
- 宮古島市との姉妹都市縁組５０周年記念式典開催
- 全国京都会議開催
- 母子及び父子並びに寡婦福祉法（母子及び寡婦福祉法から改称）
- 介護保険法改正（H27. ４月以降順次施行）
- 消費税８％に増税

平成 27 年度

平成27年4月　生活支援サポーター養成講座受託（津山市受託事業）
福祉教育推進事業　10 周年
妊産婦ホームヘルパー派遣事業受託

平成27年7月　介護おたすけ講座（H27. 7 月､9 月）講演会（H27.11 月 5 日）
生活支援サポーター事業開始

平成27年8月9日　介護予防セミナー開催

平成27年10月　認知症初期集中支援チーム設置
認知症地域支援推進員配置

平成27年10月29日　社会福祉大会開催
　テーマ　認知症を理解するために、知っておきたい知識を学ぶ
　講　師　希望ヶ丘ホスピタル　引地　充　氏
　　　　　「知っていますか、認知症のこと」
　　　　　　～病態・症状を知り、接し方・見守り・支えあいを学ぶ～

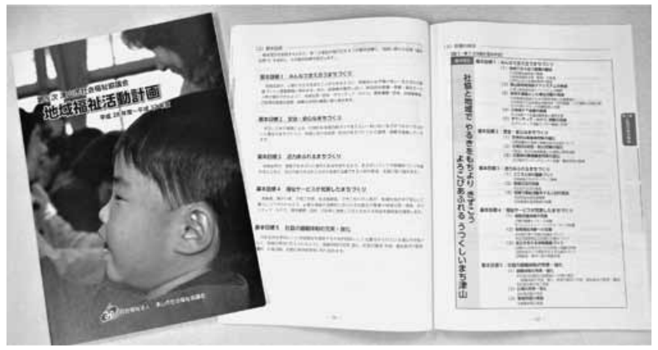
平成27年11月5日　介護おたすけ講演会開催
津山市生活支援サポーター養成講座中央部開講
（全５回　～ 12 月４日まで）
※ 15 名の生活支援サポーター誕生

平成27年12月　第 25 回孫心弁当を開催

平成27年12月13日　認知症キャラバンメイト養成講座

平成28年2月　ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催
　テーマ　リーダーが困った時に使えるお手軽メニュー
　講　師　津山第一病院　療法士
　　　　　「椅子に座ったままで出来る体操とロコモ体操」
　　　　　　～より楽しいサロンを目指して！～
　　　　　（H28. ２月 18、19、23、24 日に実施）

平成28年3月　第５次津山市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定
（実施期間：平成 28 年から平成 32 年まで）



津山市総合福祉会館エレベーター改修

平成28年3月2日　高齢者虐待防止研修会実施

平成28年3月25日　地域包括支援センターフェア開催

津山・全国の動き
津山市公共施設白書公表
「津山開花宣言　津山市第５次総合計画」策定
津山市水道局が通水８０周年記念事業を実施
津山市景観条例制定
津山圏域クリーンセンター本稼働
国勢調査実施。人口１０３，７４６人

平成 28 年度

平成28年4月　第５次津山市社会福祉協議会地域福祉活動計画に基づき事業を実施
第５次計画の５つの基本目標
1 みんなで支え合うまちづくり
2 安全・安心なまちづくり
3 活力あふれるまちづくり
4 福祉サービスが充実したまりづくり
5 社協の組織体制の充実・強化

平成28年6月　津山市総合福祉会館 ZEB 化改修事業着手

平成28年6月3日　小地域ケア会議職員研修会実施

平成28年7月13日　「津山市介護者の会」30 周年

平成28年9月21日　世界アルツハイマーデー事業
認知症の理解啓発のため、講座や相談コーナーを開催

平成28年10月25日　社会福祉大会開催
テーマ　在宅医療と介護等の連携により新しい福祉のまち津山の未来を描く
講　師　津山市医師会　薄元　亮二　氏
「在宅医療・介護等連携の推進とは」
～包括的かつ継続的な地域における
医療・介護等の取り組みを学ぶ～

平成28年11月16日　消費者被害防止研修会実施

平成28年11月21日　介護おたすけ講演会開催

平成28年12月11日　小地域ケア会議交流会実施

平成29年1月26日　高齢者虐待防止研修会実施

平成29年2月10日　津山市生活支援サポーター養成講座開講
（全５回　～3月 16 日まで）　※ 25 名修了

平成29年2月17日　地域包括支援センターフェア開催

平成29年3月　認知症徘徊模擬訓練

平成29年3月1日　ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催
テーマ　元気は日頃からの積み重ね　まずはサロンから !!
講　師　津山ファミリークリニック　医師　丸山　淳也　氏
「ザッとおさらい『高血圧』
～地域の健康を目指して～」

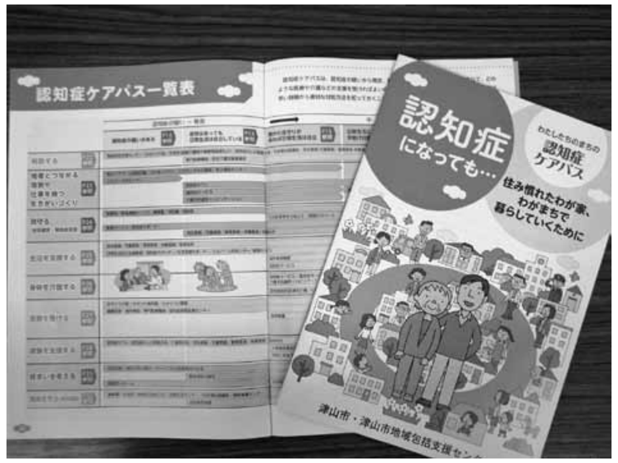
津山・全国の動き
みどりの丘保育所完成
ニッポン一億総活躍プランが閣議決定（H28. ６月２日）

ご挨拶・ご祝辞
社協について
10年のあゆみ 歴史編
10年のあゆみ 事業編
10年のあゆみ 資料編

平成 29 年度	
平成29年4月	第１層生活支援コーディネーター業務受託（津山市受託事業） 津山市権利擁護センター開所 　愛称「らいと☆おん」 勝北サブセンター勝北支所内へ移転 　移転及びケアマネージャーの配置により地域住民の利便性の向上等サービス体制の充実 県北親の会ネット　10 周年 社会福祉法改正に伴い定款改正施行（関連規程の整備） 認知症相談日（H29.4 月～）
平成29年6月22日	小地域ケア会議職員研修会
平成29年7月19日	親子ひろば　すくすく　10 周年
平成29年8月19日	権利擁護センター開設記念式典
平成29年8月9日	親子ひろば　すくすく 　利用者７万組達成（セレモニー８月 24 日）
平成29年9月	認知症あったか声かけ模擬訓練（H29. ９月、11 月） ※認知症徘徊模擬訓練から事業名を変更 認知症カフェ交流会開催（H29. ９月、H30. ２月）

平成29年10月	赤い羽根共同募金 70 周年
平成29年10月24日	社会福祉大会開催 　テーマ　津山市社会福祉大会で新しい福祉のまち津山の未来を描く 　講　師　岡山弁護士会　竹内　俊一　氏 　　　　　「津山における権利擁護を考える」 　　　　　　～津山市社会福祉大会で 　　　　　　　　　新しい福祉のまち津山の未来を描く～
平成29年10月31日	介護おたすけ講演会開催
平成29年12月7日	小地域ケア会議交流会開催
平成30年1月	津山市総合福祉会館 ZEB 化改修工事完了 （断熱屋根設置、窓ガラス複層化、空調及び照明設備更新）
平成30年1月14日	認知症キャラバンメイト養成講座開催
平成30年1月25日	高齢者虐待防止研修会実施
平成30年2月	ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催 　テーマ　よびかけよう･つなげよう･ひろげよう　サロンの絆を！ 　講　師　津山市消費生活センター　地域包括支援センター 　　　　　「地域の力で防ごう　消費者被害」 　　　　　（H30. ２月５、８、14、15 日に実施）
平成30年2月9日	津山市生活支援サポーター養成講座開講 （全５回　～３月８日まで）　※ 36 名修了
平成30年2月27日	地域包括支援センターフェア開催

平成30年3月	認知症ケアパス作成（H30. ４月～周知・啓発へ活用）



津山・全国の動き	第７期津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定 第３期津山市障害者計画・第５期津山市障害福祉計画・第１期津山市障害児福祉計画策定 津山城下町歴史館オープン 津山まちなかカレッジオープン 第１０回津山国際総合音楽祭開催 社会福祉法改正 介護保険法改正（H30. ４月１日施行）

平成 30 年度	
平成30年4月	第２層生活支援コーディネーター業務受託（津山市受託事業） 第２層生活支援コーディネーター配置（市内８圏域） 法人後見事業開始 出前福祉体験教室　30 周年 地域版親子ひろば　すくすく久米　子育てほっとサロンと出前保育を合同開催 　各関係機関からの意向で、１回目を子育てほっとサロン、２回目を出前保育と合同開催することになった。 法人後見事業開始　定款変更（法人後見事業を公益事業として位置づけ） 津山市社会福祉協議会発展強化計画策定 加茂福祉センター生きがいと交流事業「トレトレ・すまいる倶楽部」開始

	大正琴倶楽部閉講
平成30年5月	認知症あったか声かけ模擬訓練（H30.5 月､9 月､11 月､12 月）
平成30年6月	「お元気ですか！さわやかテレホンサービス」30 周年
平成30年6月26日	小地域ケア会議職員研修会実施

平成30年7月

西日本豪雨災害発災
津山市内では、ニーズ把握のうえ市との協議をした結果、ボランティアセンターの平常業務での対応として調整し、つやまＮＰＯ支援センター、津山青年会議所との協働により支援活動を行った。

- 被災地支援のため、総社市災害ボランティアセンターへ職員延べ 106 名を派遣（H30. 7 月 11 日～ 8 月 19 日）
- 続いて、倉敷市真備町災害ボランティアセンター職員延べ 110 名を派遣（H30. 8 月 19 日～ 10 月 30 日）

認知症カフェ交流会開催（H30.7 月、H31.2 月）

平成30年9月10日

地域包括支援センターフェア開催

平成30年10月

介護おたすけ講座開催（H30.10 月、11 月）

平成30年11月6日

社会福祉大会開催
テーマ　津山市社会福祉大会で人が輝く福祉のまち津山の未来を描く
講　師　倉敷芸術科学大学　濱家　輝雄　氏
「津山～良い町？ライバルは、1964 年！」
～地域で輝け～

平成30年11月19日

権利擁護セミナー IN つやま開催
講　師　落語家　露の団六　氏
「落語家が見た成年後見制度
～ダウン症のアニキの後見人として～」

平成30年12月3日

津山市生活支援サポーター養成講座開講
（全４回　～ 12 月 26 日まで）　※６名修了

平成30年12月6日

高齢者虐待防止研修会実施

平成31年1月22日

津山アルツハイマーデー実行委員会立ち上げ

平成31年2月6日

消費者被害防止研修会実施

平成31年2月13日

ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催
テーマ　よびかけよう･つなげよう･ひろげよう　サロンの絆を！
「生活支援体制整備事業とふれあいサロンの必要性について」
「サロンの魅力発信！～仲間が増えるチラシづくり～」

平成31年2月21日

津山市生活支援サポーター養成講座開講
（全４回　～３月 11 日まで）　※ 14 名修了

平成31年3月23日

小地域ケア会議交流会開催

津山・全国の動き

第２次津山市地域福祉計画策定
津山ぐらし移住サポートセンターオープン
津山地域づくりサポートセンターオープン
津山市制施行９０周年

平成 31 年度

平成31年4月

加茂町福祉センターを津山市より指定管理受託
認知症あったか声かけ模擬訓練実施（H31.4 月、10 月）

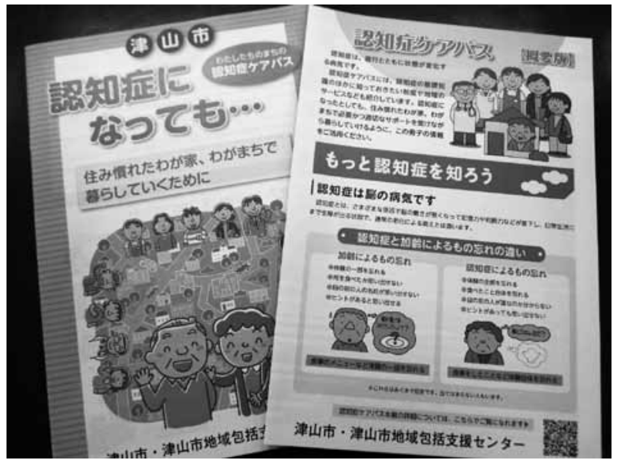
津山・全国の動き

つやま東幼稚園開園（高野本郷）
３年保育開始　子育て支援センター開設
つやま西幼稚園開園（旧 鶴山幼稚園）
３年保育開始　子育て支援センター開設
８月新園舎移転（二宮）　二宮公民館と複合施設

令和元年度	
令和元年5月	平成から令和へ元号改元 津山市社会福祉協議会職員研修計画策定 注文をまちがえるかもしれないレストラン実施 （R1. 5月、7月、9月、12月）
令和元年5月26日	若年性認知症市民フォーラム開催
令和元年6月	若年性認知症相談日を設ける（R1.6月～）
令和元年8月31日	世界アルツハイマーデー映画上映会を開催
令和元年9月	岡山県北豪雨災害（新見市）発災 被災地支援のため、新見市災害ボランティアセンターへ職員延べ21名を派遣（R1. 9月5日～10月12日）
令和元年9月12日	津山市生活支援サポーター養成講座開講 （全４回　～10月10日まで）　※19名修了
令和元年9月19日	認知症啓発オレンジウォークの実施
	小地域ケア会議職員研修会実施（R1. 8月、R2. 1月） 小地域ケア会議アンケート実施
令和元年10月	介護おたすけ講座
令和元年10月29日	社会福祉大会開催 テーマ　津山市社会福祉大会で人が輝く福祉のまち津山の未来を描く 講　師　吉本興業株式会社所属岡山県住みます芸人　江西あきよし 氏 「地域のネットワークを活かした地域活性化」 ～心から生まれるコミュニケーションが地域を救う～

令和元年11月12日	消費者被害防止研修会実施
令和元年11月16日	成年後見セミナー開催 テーマ　なるほど！ザ・成年後見制度 講　師　岡山パブリック法律事務所 副所長　社会福祉士・精神保健福祉士　尾﨑　力弥　氏
令和元年12月	認知症カフェ交流会開催
令和元年12月6日	高齢者虐待防止研修会実施
令和2年1月	日本財団の補助により津山老人福祉センターの空調設備とトイレのバリアフリー化改修工事が完了
令和2年1月10日	加茂・阿波圏域第２層協議体設置
令和2年1月20日	勝北圏域第２層協議体設置
令和2年1月21日	津山市生活支援サポーター養成講座開講 （全４回　～2月10日まで）　※22名修了
令和2年2月	ふれあいサロンリーダー研修・交流会開催 テーマ　よびかけよう･つなげよう･ひろげよう　サロンの絆を！ 講　師　笑いヨガティーチャー　松田　道明　氏 「笑いヨガで笑って元気！ 笑いの体操で健康寿命を延ばそう！」 （R2. 1月30日、2月6、7、13日に実施）
令和2年2月18日	津山市社協内での新型コロナウイルスに関する注意喚起を発信および社協方針による各事業の対応を検討

令和2年3月　認知症ケアパス改編、概要版作成



令和2年3月25日　新型コロナウイルスの影響による生活困窮世帯に対して、生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）事業を実施

津山・全国の動き
津山市都市計画マスタープラン改定
加茂支所新庁舎完成
日本で、新型コロナウイルスに関する最初の感染者が確認される（R2. 1月15日）
岡山県で、新型コロナウイルスに関する最初の県内感染者が確認される（R2. 3月22日）
障害者の雇用の促進等に関する法律改正
（R1. 6月14日、9月6日施行）
消費税１０%に増税

令和２年度

令和2年4月1日　津山市総合福祉会館全館禁煙の実施

令和2年4月10日　津山市社会福祉協議会新型コロナウイルス感染症対策会議設置

令和2年4月22日　新型コロナウイルス感染症対策として、窓口等に「ついたて」を設置
相談に訪れた方が安全・安心に相談できるように、新型コロナウイルス感染症対策として「ついたて」を津山トンカチボランティアの会の協力により設置した。

令和2年5月　新型コロナウイルス感染症対策マニュアル策定
新型コロナウイルスの影響により、夏のボランティア体験事業が実施できなかったため、「ボランティア活動とは」について、動画配信によるボランティア啓発事業を実施

令和2年5月8日　マスクプロジェクト（第１弾）の実施（R2.5月8日～5月9日）
新型コロナウイルスの影響下での地域住民同士のつながりの維持やマスク不足解消を目的に、手作りマスク150枚の受け渡しを行った。

令和2年5月27日　マスクプロジェクト（第２弾）の実施（R2.5月27日～6月5日）
マスクプロジェクト第１弾からさらに手作りマスクを必要とするニーズが把握できたため、新型コロナウイルスの影響下での地域住民同士のつながりの維持やマスク不足解消を目的に、企業や寺院、ボランティアと協力し1,051枚の手作りマスクの受け渡しを行うとともに、マスクを受け取った世帯から、いただいたありがとうメッセージを寄付者、作り手の方々へ届けた。

令和2年6月　津山市共同募金委員会オリジナルLINEスタンプ作成

令和2年6月5日　福祉総合相談・心配ごと相談の開催時間を変更
新型コロナウイルス感染防止に努めながらも、相談窓口を継続できる形での対応とした。

令和2年6月8日　新品マスク回収ボックスを設置
政府配布のマスクをはじめ、新品マスクを市内７カ所（本所、老人福祉センター、親子ひろば「すくすく」、加茂福祉センター、阿波福祉センター、勝北福祉センター、久米福祉センター）へ設置

令和2年6月30日　津山市と「津山市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結

令和2年8月20日　赤い羽根共同募金「寄付つき商品・地域支援プロジェクト」調印式を行い、津山市内発となる特定非営利活動法人希福祉会が登録

令和2年8月26日　一般社団法人津山青年会議所と「災害ネットワーク協定」を締結

令和2年8月28日　世界アルツハイマーデー映画上映会を開催

令和2年9月11日　若年性認知症市民フォーラム IN つやまを開催
　～認知症とともに笑顔で生きる～

令和2年10月27日　社会福祉大会開催（津山市社会福祉協議会 70 周年記念事業）
　テーマ　津山市社会福祉大会で人が輝く福祉のまち津山の未来を描く

　講　師　ダニエル・カール　氏
　「あなたのやさしさが福祉のまちづくりを進める」
　～人にやさしいひとづくり・街づくり～

　会　場　津山文化センター

令和2年11月25日　新型コロナウイルス感染症対策として、地域へ「ついたて」の貸出を開始

津山・全国の動き	津山文化センターリニューアル
	津山市 言語としての手話の理解の促進及び手話等の普及に関する条例制定
	城西地区が重要伝統的建造群保存地区に制定
	日本で、新型インフルエンザ等対策特別措置法第３２条第１項の規定に基づき、緊急事態宣言を７都府県に発出される。（R2. ４月７日から５月６日までの１か月間、実施区域：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の７都府県）
	官報号外により、緊急事態宣言を全国に拡大（R2. ４月 16 日）
	全国に拡大した緊急事態宣言を、北海道と千葉、埼玉、東京、神奈川、京都、大阪、兵庫の８都道府県を除く 39 県で解除（R2. ５月 14 日）
	社会福祉法改正（R3. ４月１日施行）
	介護保険法改正（R3. ４月１日施行）
	老人福祉法改正（R3. ４月１日施行）

History continues...

津山市社会福祉協議 70th Anniversary

～ 10年のあゆみ ～

事業編

◆平成23年度から令和2年度の間にスタートした主な事業

◆ 赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業（平成 23 年度事業開始）

●赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業とは

連合町内会支部、町内会を単位として、地域住民自らが地域の福祉課題を発掘し、町内会、愛育委員・栄養委員、民生児童委員、老人クラブ、NPO（市民活動団体）等地域の関係機関・団体、学校・園、福祉施設等と協働しながら、地域住民が主体となって行う福祉的な学習・体験・活動等地域福祉事業の推進が図られるように支援を行う事業です。

・事業内容

本支援により、多くの地域で、地域の実情に即した形で、目的を同じくする関係機関・団体等が協働して、地域内のネットワーク強化や、地域住民自身が福祉の担い手となり地域の福祉課題を解決するための意識の醸成・高揚や、地域の課題を解決する能力と実践力を身につけるための福祉講演会・研修会など、自主的な取り組みが進んできました。

◆ 市民後見人養成事業（平成 23 年度事業開始）

●市民後見人養成事業とは

近年、家族関係の希薄化、一人暮らしや認知症高齢者の増加、知的・精神障がい者の生活の場の地域移行がすすんでいます。そのため、判断能力が十分でない方々が経済的な虐待や消費者被害にあうケースが増えています。このような中、誰もが地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、判断能力が十分でない人の生活を身近な立場で支援し後見活動を行っていく「市民後見人」を養成していく事業です。

・事業内容

本事業は、地域で高齢者や障がい者を支える成年後見制度の仕組みとして、平成２３年度に弁護士・司法書士・社会福祉士・ＮＰＯ法人・行政・社協とで実行委員会を作り、養成講座を行いました。また、平成２５年度からは、岡山県の委託事業として実施しています。

これまでに、受講者数は延べ 346 人、現在では、27 人の方が市民後見人として活躍されています（令和２年 10 月１日現在）。

◆ 小地域ケア会議（平成 24 年度開始）

●小地域ケア会議とは

連合町内会支部単位を基本とし、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けていくために、そこに住む地域住民（町内会役員、愛育委員・栄養委員、民生児童委員、老人クラブ等）と専門職（行政、社協、包括）が地域課題等について話し合い、解決に向けて協働して取り組む場です。令和２年１０月時点で３１支部が小地域ケア会議を設置し、３～４ヵ月に１回程度開催しています。

・取り組みの内容（支部によって取り組みは様々で、下記の内容は取り組みの一例です。）

- 地域の現状や課題の把握（支え合いマップ、アンケート調査等）
- 支え合い・見守りの仕組みづくり（世帯票・見守り台帳の作成、生活支援事業等）
- 集いの場づくり（子育てサロン、出前カフェ等）
- 災害時の体制づくり（災害時支援マップの作成、防災訓練等）

◆ 地域子育て支援事業（平成 25 年度事業開始）

●地域版親子ひろばすくすくとは

身近な地域で、子育て世帯の孤独感・負担感を軽減し、安心して子育てができるように、地域団体やボランティアで支援・運営しています。また、社会福祉法人の地域での公益的な取組と連携をとり、出前保育を実施することで、多くの人が気軽に利用でき、保育士との育児相談もできます。　≪久米・勝北（平成２５年４月設置）、佐良山（平成２６年８月設置）≫

・事業内容

久米・勝北は、行政の育児相談と合同開催や、地区の親子クラブと合同でイベント企画もしています。佐良山は、夏にプール遊び・大浴場の入浴や、ボランティアのかき氷・ホットケーキなど施設の特徴を生かし、地域との繋がりを促進しています。親子ひろば「すくすく」の専任保育士が、出前保育や Photo アートを実施し、地域版すくすくを結びつけることで相互支援も行っています。

★地域版久米「うた・うたう会♪」

★地域版勝北「マジックショー」

★地域版佐良山「プール遊び」

◆ 生活支援サポーター事業（平成 27 年度事業開始）

●生活支援サポーター事業とは

元気な高齢者が、ボランティア精神を基本に、要支援者及び事業対象者等（以下、要支援高齢者等）で日常生活に困難をきたしている高齢者に対して、家事などの日常生活支援を行うことにより、元気高齢者の社会参加と要支援高齢者等の自立した在宅生活を支援していくことを目的としています。

・事業内容

- 生活支援サポーター養成講座の開催。
- 地域包括支援センター等から相談のあった、日常生活に支障が生じている高齢者に対して、訪問面談のうえ生活支援サポーター養成講座を修了した「生活支援サポーター」のコーディネートを行う。
- 利用状況のモニタリングを行い、利用者、サポーター、地域包括支援センター担当者との調整を行う。

★サポーター養成講座

★サポーターとしての地域で活躍

◆ 認知症総合支援事業（平成 27 年 10 月開始）

●認知症地域支援推進員

認知症の人が住み慣れた地域で生活するために各関係機関等と連携を図り、認知症の人と家族を支援する人です。

●認知症初期集中支援チーム

認知症またはその疑いのある方やご家族をチーム員（認知症サポート医、保健師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等の専門職で構成）が訪問して、どのような生活上の困難さがあるのか、それによりご本人やご家族がどのように困っているかなどを一緒に確認します。そして、概ね６か月を目安に本格的な医療や介護につなげていくために集中的に支援を行います。

・対象者

４０歳以上の津山市民の人で、自宅で生活されており、かつ認知症の疑われる人や認知症の人で、次の①～④のいずれかに該当する人が対象となります。

① 認知症の診断を受けていない人
② 継続的な医療を受けていない人
③ 介護保険サービスにつながっていない、
　 または中断している人
④ 認知症の症状が強いため対応に困っている人

◆ 認知症あったか声かけ模擬訓練（平成 28 年度事業開始）

●認知症あったか声かけ模擬訓練とは

認知症を正しく理解し、道に迷っている人の気持ちに配慮して、見守りや優しい声かけができることや早期に発見できるしくみづくり、また、地域での見守りや助け合いを考え、支え合える地域づくりを目指します。

・事業内容

★事前に認知症サポーター養成講座を開催
認知症の理解や認知症の人への対応方法等について学びます。認知症の人やその家族を支援するためにはどうしたら良いかを考えていただきます。

▶

★当日
認知症役が行方不明になったと想定のもと、参加者が道に迷っている人を見つけたら、声かけをして、保護してもらいます。

▶

★模擬訓練終了後に意見交換会
参加者、認知症役等みなさんで、振り返り、意見交換を行います。

◆ アルツハイマーデー事業（平成 28 年度事業開始）

●アルツハイマーデー事業とは

９月２１日は世界アルツハイマーデーと制定され、各地でこの日を中心にアルツハイマー病等認知症の理解啓発を行っています。また９月を世界アルツハイマー月間として世界各地で啓発活動を行っています。＜津山アルツハイマーデー実行委員会（平成 30 年度立ち上げ）＞

・事業内容

★認知症予防講座
認知症の理解啓発、予防等について講座を開催します。

★街頭啓発
津山駅、スーパー等にて、認知症啓発活動を行います。

★パネル展示
認知症に関するパネルやメッセージ等を市役所、各支所、図書館等に展示します。

★認知症当事者講演会
認知症、若年性認知症の方から、現在のおもい、これからの活動等についてお話を伺います。

★オレンジに染める活動
認知症についての正しい理解が広がることを目的に、津山城、美作大学等でのライトアップや各企業、団体、市民の皆さんにオレンジ色のＴシャツ等を着用してもらいます。

★オレンジウォーク
認知症支援のオレンジ色の物を身に着けて、認知症の啓発活動を行うために、津山市内を市民の皆さんと歩きます。

◆ 津山市権利擁護センター「らいと☆おん」(平成 29 年度事業開始)

●津山市権利擁護センター「らいと☆おん」とは

認知症の高齢者や障がいのある方等の権利が侵害されることがないように、専門的な立場から本人の思いを大切にし、問題解決に向けて支援（助言・関係機関との調整など）を行なったり、成年後見制度を皆さんに知っていただき、利用していただくための支援等を行っています。

・事業内容

★相談業務
成年後見制度や日常生活自立支援事業、福祉サービスの利用を必要とする人やその家族、支援者などからの相談を受けます。

★普及・啓発
成年後見制度や日常生活自立支援への理解を深めていただけるように、制度に関する広報や研修会を行います。

★日常生活自立支援事業実施
日常生活自立支援事業として、必要な福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預りサービスを行います。

★市民後見人の活動支援
市民参加型の権利擁護を図るため、市民後見人の活動サポートやフォローアップ研修を行います。

★成年後見制度利用支援
本人がものごとを決めることに自信がなかったり、決めることができなかったりしても、本人の思いを大切にし、契約や財産管理など法律行為を行うことで、本人らしく暮らせるように制度の利用を支援します。

◆ 法人後見事業（平成 30 年度事業開始）

●法人後見事業とは

津山市社会福祉協議会が、法人として成年後見人、保佐人、補助人になり、認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを目的とした事業です。

・事業内容

成年後見人等として成年後見制度にもとづき、主に以下のような後見事務を行っています。

★身上監護
地域住民、ボランティア、福祉･法律の専門家、行政と連携し、本人が安心して住みなれた地域で暮らし続けられるように支援をします。また、介護サービス契約や施設入所契約、入院の手続きなどを、本人に代わって行います。

★財産管理
本人の資産や負債、収入および支出の内容を把握し、本人のために必要かつ相当な支出を計画的に行いながら資産を維持します。

★意思決定支援
財産管理、身上監護を行うにあたり、できる限り成年被後見人等の意思を尊重した支援を行います。

★家庭裁判所への定期報告
財産管理状況や本人の身上監護のために行った手続きについて、定期的に家庭裁判所へ報告を行います。

◆ 生活支援コーディネーター事業（平成 30 年度事業開始）

●生活支援コーディネーター事業とは

自分たちのまちをよりよくしていくために人と人、人と場、人と支援、思い・心、情報等様々なものをつなぎ、多様なネットワークを育て組み合わせていく調整役を担う事業です。

・事業内容

★地域の生活支援ニーズ・資源の把握
地域に出向き関係機関と協働・連携して、生活上の困りごとや、使われているサービス、助け合い活動などの取り組みを把握・整理します。

★困りごとへの情報提供
地域で生活していくうえでの困りごとに対して、利用できるサービスや資源に関する情報を提供します。

★関係者間の情報共有と連携の強化
お互いに支え合える地域づくりに向けて、関係者間で地域の課題や資源の共有（見える化等）を行い、連携の強化を図ります。

★担い手の発掘・養成・活動支援
地域で活動したい方の相談に応じ、活動に結び付けたり、ボランティアや生活支援サポーター等の地域活動の担い手の育成支援を行います。

★生活支援サービスの充実・強化・創出
住民の困りごとの解決に向けて、行政や民間企業、社会福祉施設、NPO などの関係機関と協働（連携・協働の場である『協議体』を開催するなど）し、既にある資源の改良や必要な資源の開発を行い、各々の地域にあった、支え合いの仕組みづくりを推進していきます。

◆ 加茂福祉センター生きがいと交流事業「トレトレ・すまいる倶楽部（脳トレ）」（平成 31 年度開始）

●生きがいと交流事業とは

地域にお住いの高齢者の皆さんが、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、生きがいと交流の増進を図っています。また、地域への社会参加からつながる閉じこもり予防・介護予防にも目を向けながら、地域全体の活性化を目指している事業です。

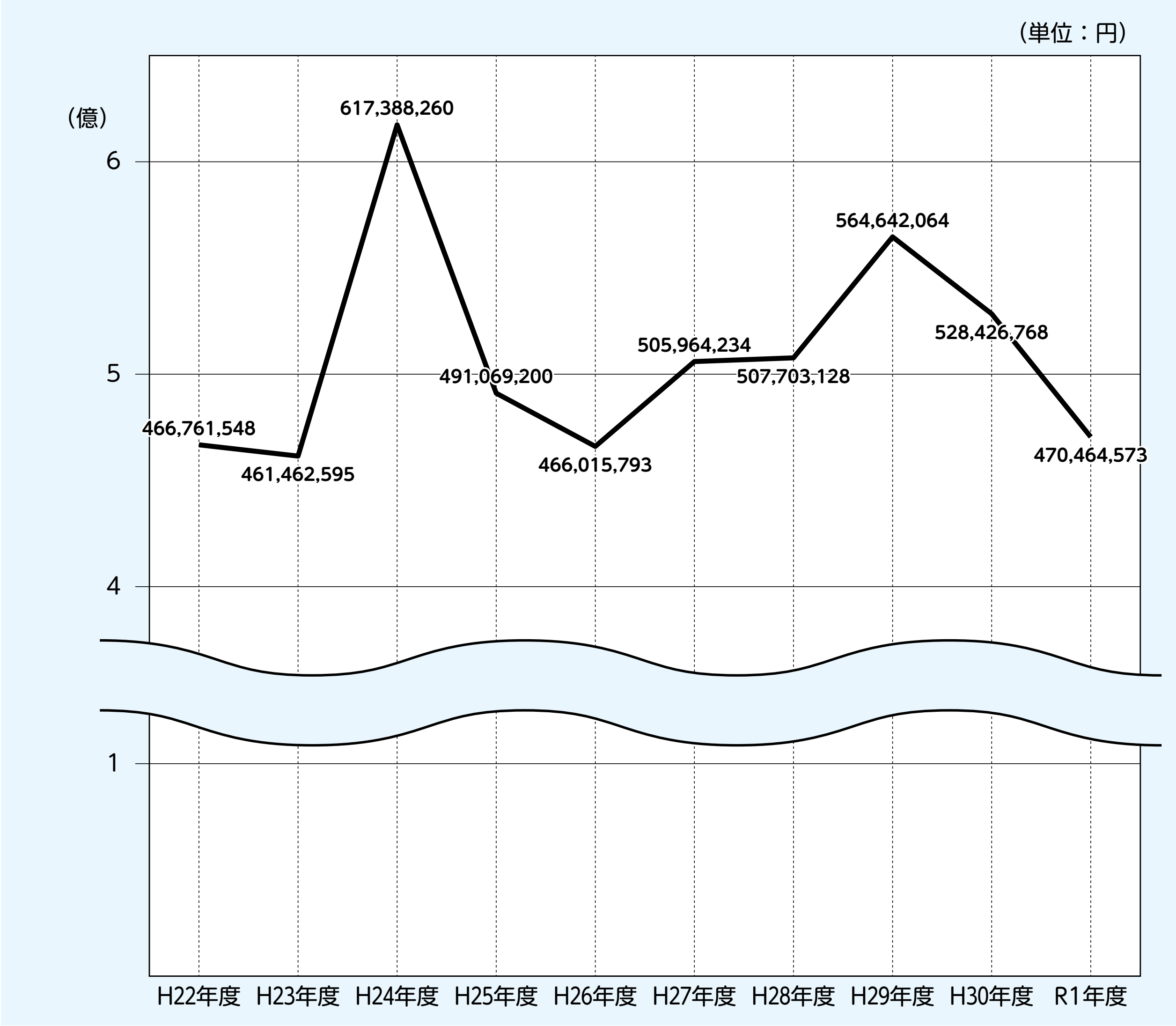
・事業内容

地域にお住いの 65 歳以上の方を対象に､加茂町福祉センターで月２回（第１･３月曜日）体操･脳のトレーニング等の要素は盛り込んだ講座を実施しています。

津山市社会福祉協議 70th Anniversary

～ 10年のあゆみ ～ 資料編

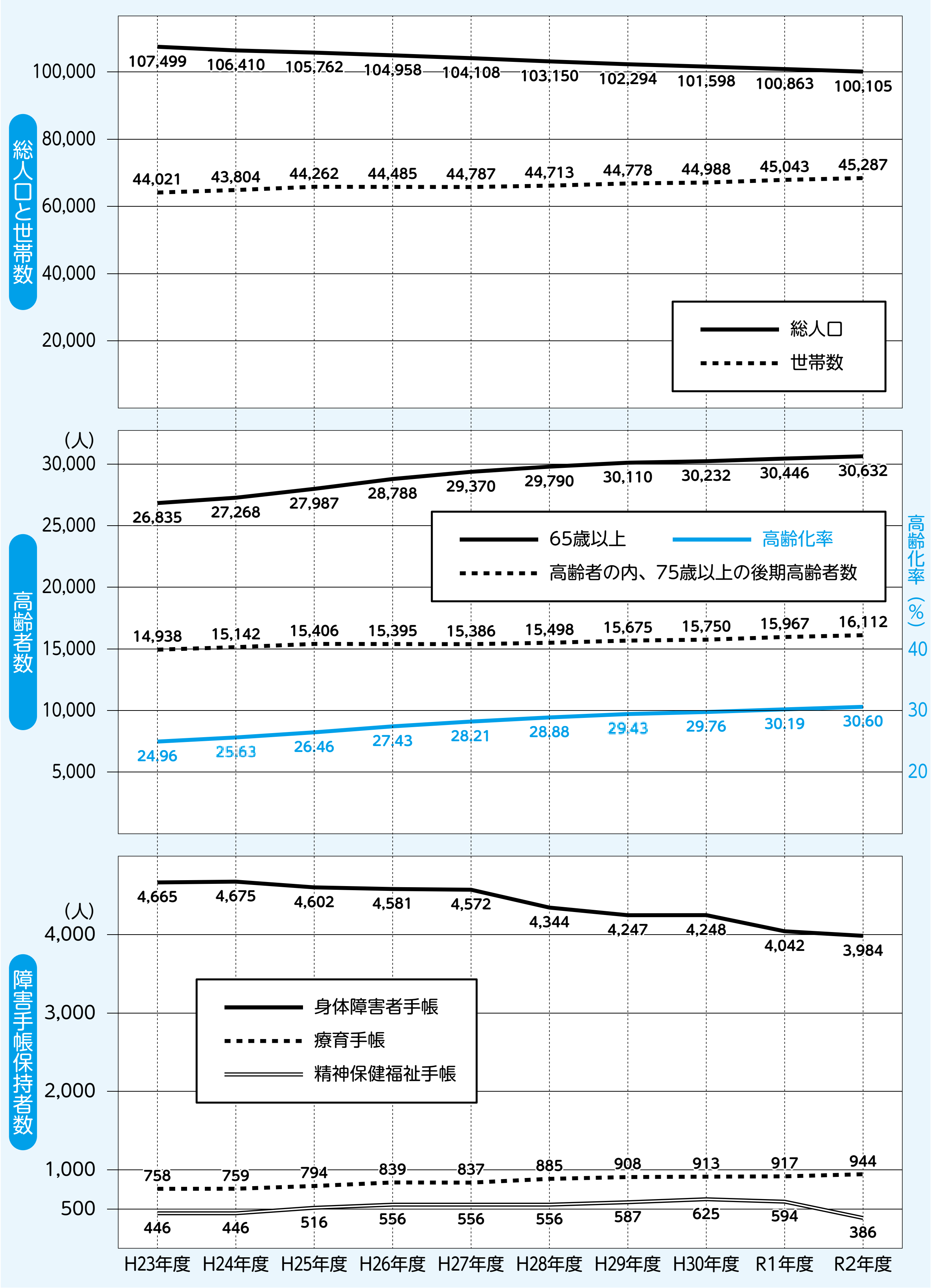
決算状況（平成 22 年度～令和元年度）



※平成 26 年度より新会計基準に移行した。
※新会計基準に合わせるため、平成22年度～平成25年度は一般会計と特別会計の合計額を記載した。

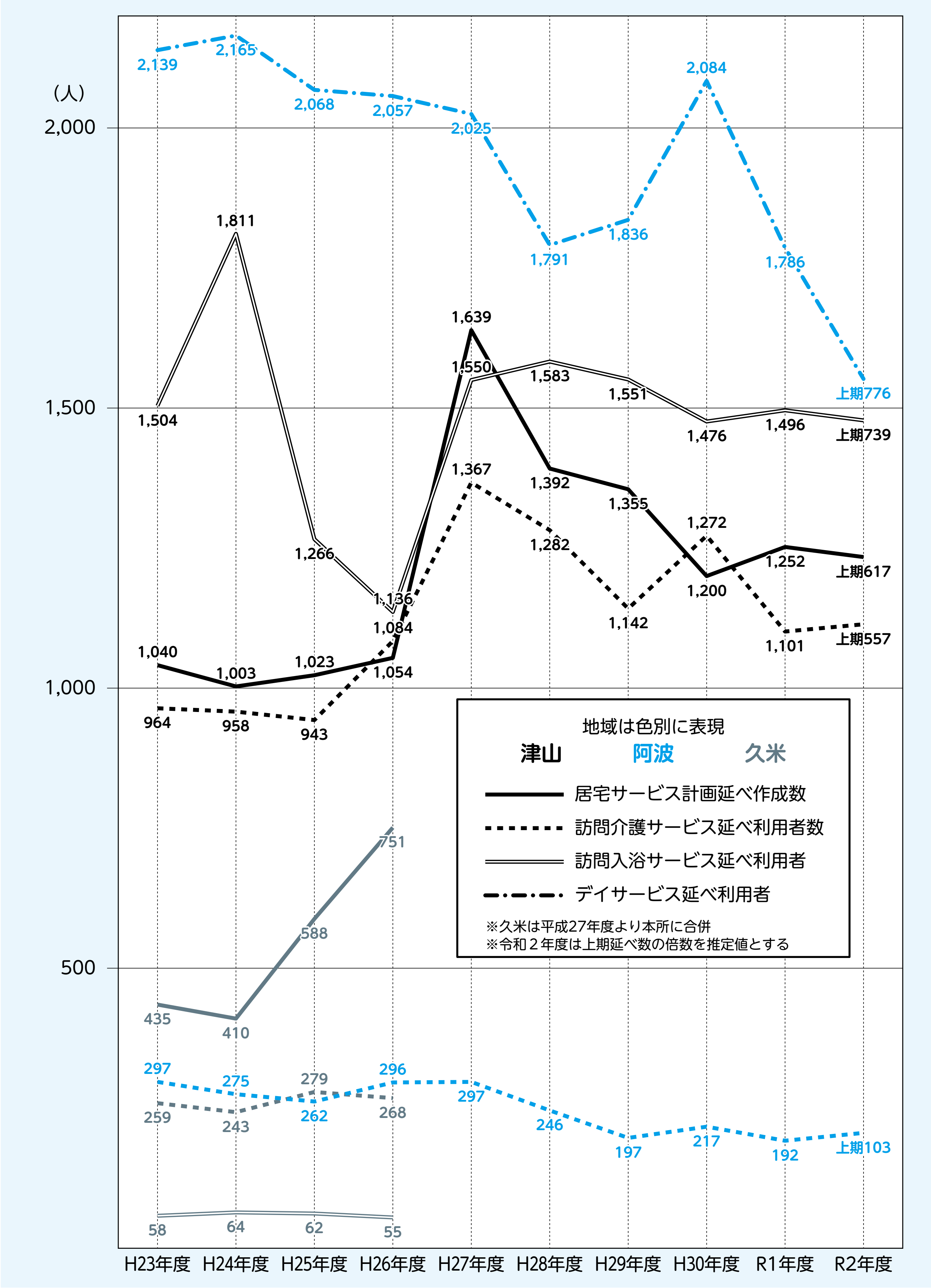
津山市の人口、世帯数など

総人口・世帯数と高齢者数（高齢化率）および障害手帳保持者数

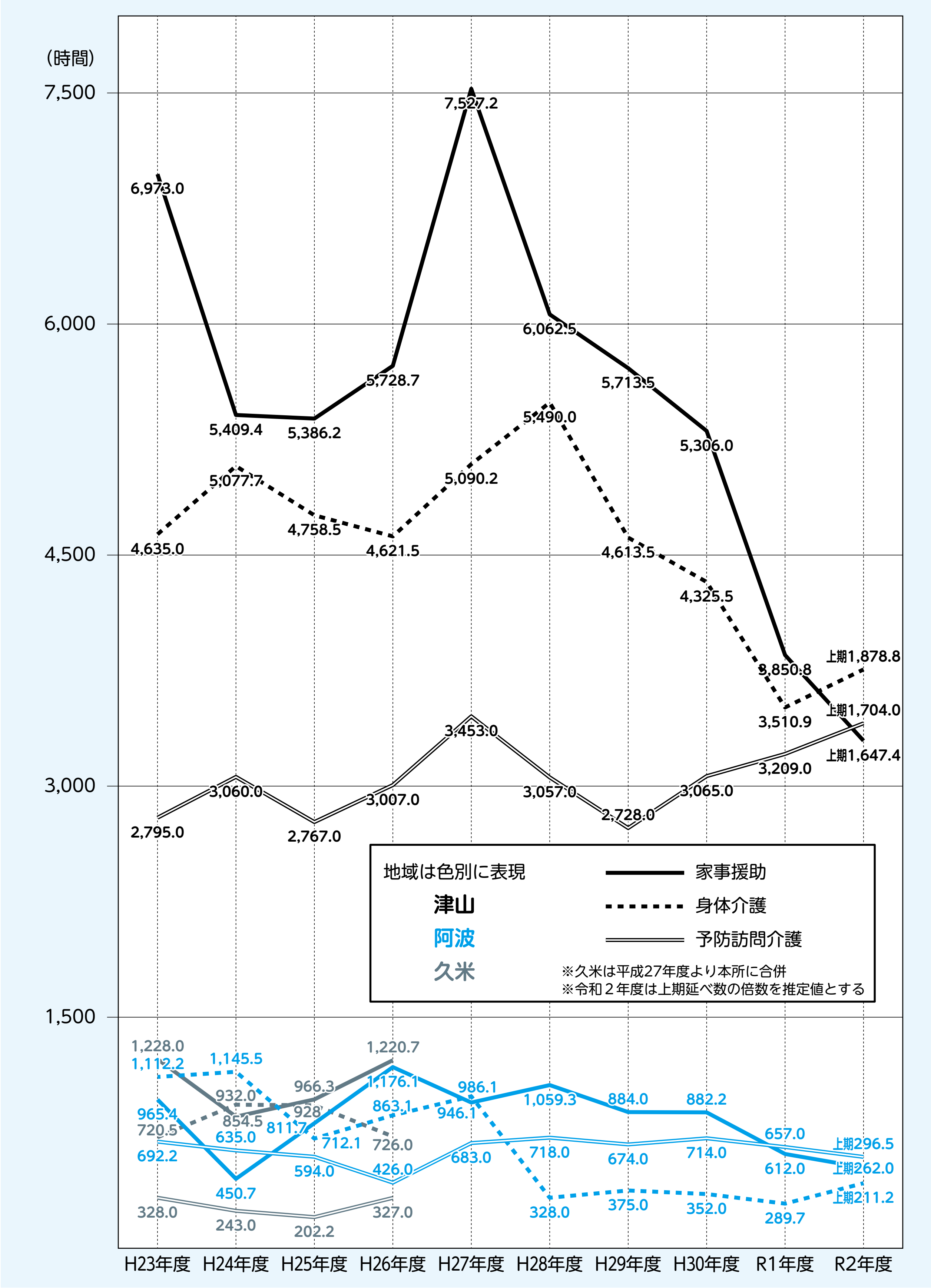


福祉サービス利用統計

居宅サービス計画延べ作成数と福祉サービス（訪問介護・訪問入浴・デイサービス）延べ利用者数



訪問介護サービス（家事援助・身体介護・予防訪問介護）延べ利用時間



津山市社会福祉協議会 歴代就任役員名

年月日	会長	副会長	常務理事	理事	監事
平成22年12月16日		民生児童委員協議会 岸 章弘		民生児童委員協議会 神尾吉勝 久米地域審議会 石原敬三	
平成23年6月1日				津山市議会 津本辰己 社会福祉事務所 和田賢二	
平成23年10月1日				勝北地域審議会 芦田昭雄	
平成24年6月1日		連合町内会 坂本道治 老人クラブ連合会 藤本 毅		連合町内会 小椋 懋	連合町内会 小川 宏
平成25年5月29日				津山市議会 秋久憲司 社会福祉事務所 井上純輔	
平成25年10月1日				久米地域審議会 青山悦子	
平成25年12月19日		民生児童委員協議会 髙山科子		民生児童委員協議会 眞木好之	
平成26年5月24日				ボランティア交流会 齋藤英一	
平成26年10月1日			社会福祉協議会事務局長 土井京三		
平成27年2月25日				愛育委員連合会 松本靜江	
平成27年5月29日				連合町内会 岸本常義 津山市議会 竹内靖人	
平成28年9月22日		老人クラブ連合会 谷名俊彦		母子寡婦福祉会 澤 登志子	
平成29年6月14日		連合町内会 小椋 懋		連合町内会 松本 基 連合町内会 岡田 勉 津山市議会 安東伸昭 老人・身体障害者施設 福原文徳 社会福祉事務所 小賀智子	連合町内会 清原三郎
平成29年12月23日		連合町内会 松本 基		連合町内会 清原三郎	連合町内会 廣幡 昇
平成30年6月20日		老人クラブ連合会 高橋重逸		社会福祉事務所 飯田早苗	
令和元年6月20日		連合町内会 清原三郎 愛育委員連合会 松本靜江	社会福祉協議会参与 坂手宏次	連合町内会 大山正志 愛育委員連合会 井上郁子 津山市議会 政岡哲弘	連合町内会 柿内 穂
令和2年6月22日		老人クラブ連合会 小野恭三		社会福祉事務所 藤井浩次	

津山市社会福祉協議会 役員名簿

令和２年12月１日現在

正副会長

役職名	氏　名
会長	小山　了
副会長	清原　三郎
副会長	髙山　科子
副会長	松本　靜江
副会長	小野　恭三

理事・監事

役職名	氏　名
理事	岡田　勉
理事	大山　正志
理事	眞木　好之
理事	井上　郁子
理事	齋藤　英一
理事	政岡　哲弘
理事	大塚　邦久
理事	芦田　昭雄
理事	青山　悦子
理事	藤田　勉
理事	澤　登志子
理事	福原　文徳
理事	藤井　浩次
常務理事	坂手　宏次
監事	柿内　穂
監事	玉置　恵治
監事	藤本　明弘

評議員名簿

令和２年12月１日現在

区　分	所属団体等	氏　名
地域・住民の代表者	津山市連合町内会	小川　宏
		重松　正起
		上高　進
		西山　正美
		小林　正明
		寺本　勝
		高須　昌明
	中山間地域懇談会（加茂・阿波）	大塚　人美
		都井　啓子
		稲田　法子
	中山間地域懇談会（勝北）	前田　康孝
		植月　加代子
	中山間地域懇談会（久米）	尾埣　照將
		山﨑　多賀子
	津山商工会議所	西山　公二
	晴れの国岡山農業協同組合	石本　英二
民生児童委員・愛育委員・ボランティア団体の代表者	津山市民生児童委員連合協議会	治郎丸　清志
		竹内　二男
		田島　美智子
		田渕　廣美
	津山市愛育委員連合会	生末　洋子
		内田　妙子
	津山市ボランティア交流会	神田　幸子
社会福祉団体・社会福祉施設の代表者	津山市手をつなぐ育成会	二木　幸子
	津山市保育協議会	土居　義幸
	老人・身体障害者福祉施設	佐山　雅之
	津山児童福祉施設職員研究協議会	橋本　恵
	救護施設等入所施設	清田　寂源
保健・医療関係者	津山市医師会	向谷　雅史
	津山歯科医師会	真木　徹
福祉関連団体の代表者	津山地区保護司会	姫田　貢之
	津山市環境衛生推進委員会	髙山　康晴
	津山市子ども会連合会	岡田　進
	津山青年会議所	橋本　安弘
行政関係者	津山市こども保健部	飯田　早苗
	津山市地域振興部	二宮　俊幸
学識経験者	学識経験者	竹内　章雄
		福田　邦夫
		杉山　誠一

職 員 名 簿

令和２年12月１日現在

役職名			氏　名
参与			坂手　宏次
事務局長			井上陽一朗
総務課		参与・総務課長	絹田　真一
総務課		課長補佐	厨子　裕美
総務課		主任	岩﨑　邦宏
総務課		管理人	尾峪　　正
地域福祉課		課長	神田　和幸
地域福祉課	福祉係	主査	中塚　慶太
地域福祉課	福祉係	主事	黒田　雄基
地域福祉課	福祉係	主事	藤澤　成実
地域福祉課	福祉係	事務員	齊藤　綾香
地域福祉課	福祉係	保育士	延原　裕子
地域福祉課	権利擁護センター	主査	大釜　満穂
地域福祉課	権利擁護センター	主任	井伊　理恵
地域福祉課	権利擁護センター	主事	石原　尚己
地域包括支援センター		次長兼センター長兼保健師（市派遣）	伊藤智江美
地域包括支援センター		所長補佐	松尾　　彰
地域包括支援センター		主幹兼主任介護支援専門員	大塚　　愛
地域包括支援センター		主査	原田　誠子
地域包括支援センター		主査兼社会福祉士	神田のぞみ
地域包括支援センター		主任兼社会福祉士	古山　麻友
地域包括支援センター		社会福祉士	藤原　康起
地域包括支援センター		社会福祉士	坂手　志帆
地域包括支援センター		社会福祉士	河本　花織
地域包括支援センター		社会福祉士	有元　文夏
地域包括支援センター		社会福祉士	鳥越　晶子
地域包括支援センター		社会福祉士	新免　美和
地域包括支援センター		主任兼主任介護支援専門員	藤山　祥子
地域包括支援センター		主任介護支援専門員	髙本やよい
地域包括支援センター		主任介護支援専門員	清水　マリ
地域包括支援センター		介護支援専門員	勝山真奈美
地域包括支援センター		介護支援専門員	米井　佳代
地域包括支援センター		介護支援専門員	小原とも子
地域包括支援センター		介護支援専門員	甲本　優子
地域包括支援センター		介護支援専門員	坂上　優見
地域包括支援センター		介護支援専門員	片山　　操
地域包括支援センター		介護支援専門員	牛房　初恵
地域包括支援センター		保健師	原田　恭子
地域包括支援センター		保健師	芦田七奈子
地域包括支援センター		保健師	川上　恵子
地域包括支援センター		主任兼看護師	小林伊津美
地域包括支援センター		看護師	林　　千春
地域包括支援センター		看護師	小林　麻依
地域包括支援センター		事務員	佛崎　　透
地域包括支援センター		事務員	多胡久美子
地域包括支援センター		介護支援専門員（法人出向）	杉本　剛久
地域包括支援センター		介護支援専門員（法人出向）	檜尾美和子
地域包括支援センター		社会福祉士（法人出向）	鹽津　藍子
介護福祉課		課長	内田　勝彦
介護福祉課	介護係	主任兼主任介護支援専門員	藤澤　明美
介護福祉課	介護係	介護支援専門員	小林　英香
介護福祉課	介護係	主任介護支援専門員	石原　里美
介護福祉課	介護係	主任兼訪問介護員	池内　貴子
介護福祉課	介護係	主任兼訪問介護員	宇津見君枝
介護福祉課	介護係	主任兼訪問介護員	山本　志穂
介護福祉課	介護係	主任兼看護師	春木　千枝
老人福祉センター		所長	髙井　昭彦
老人福祉センター		主任	吉村　明美
加茂福祉センター		所長	溝曽路　賢
加茂福祉センター		主事	後藤　理恵
阿波福祉センター		所長	石田　昌子
阿波福祉センター		訪問介護員	西山　美保
阿波福祉センター		主任兼看護師	小椋久美子
阿波福祉センター		相談員兼介護員	森上千恵子
勝北福祉センター		所長	坂本　達彦
勝北福祉センター		主事	春名　彰文
久米福祉センター		所長	赤松　直人
久米福祉センター		主任	森岡　尚子

津山市社会福祉協議会
70th anniversary
～ 10年のあゆみ ～

７０周年記念誌 発刊のお礼

◆編集後記

津山市社会福祉協議会７０周年を記念して、地域の皆様とともにあゆんだ、平成２２年（６０周年）以降の１０年間の取り組みなどについて記念誌を発行いたしました。

この１０年を振り返りますと、少子高齢化の進行による人口構成の変化や家族形態、地域基盤の変化など私たちの暮らす社会では大きな変化が生じており、セーフティネットに生じたほころびや、東日本大震災や西日本豪雨災害をはじめ、各地で多発する災害への備えや、また、新型コロナウイルスの感染に端を発する経済的な打撃による生活困窮の拡大や、地域住民同士のつながりや生きがいづくりの取り組みが停滞するなど、新たな福祉・生活課題への的確な対応が求められる時代であり、さらに、平成２３年の介護保険法改正により、「地域包括ケアシステム推進」が明記され、平成２４年４月１日から施行となり、平成２８年には「ニッポン一億総活躍プラン」が閣議決定され、地域を中心とした支援体制づくりや、地域の中でより多くの方が活躍する地域づくりなど、地域共生社会の実現に向けて大きく変革した１０年であったと思います。

紙面の都合上、主要なものだけの掲載となっておりますが、ともにあゆんでこられた皆様をはじめ、一人でも多くの皆様にご一読いただければ幸いです。編集にあたりまして、ご支援ご協力いただきました関係者の皆様に心より厚くお礼申し上げます。

私ども職員一同は、７０周年の節目にあたり、今後も地域の皆様、行政や関係機関・団体の皆様とも連携を深め、協働しながら地域福祉推進に努めてまいります。

今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和２年12月 吉日

社会福祉法人　津山市社会福祉協議会

事務局長　井上　陽一朗

職員一同